

仕 様 書

品 名 FP-1.5CA

No. 0810685

図 番 Y-0811438-02

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5223A
2 定格電圧 AC 150V
3 定格電流 1A
4 公称インピーダンス 75Ω



株式会社 **トーコネ**
TO-CONNE CO., LTD.

	項 目	条 件	規 格
1	構造形状	構造及び形状寸法	異常のないこと
2		材 質	
3		仕上げ及び表示	
4	電 気 的 特 性	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ 以上
5		耐電圧	AC 500V 1分間 異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを超えない方法にて 中心コンタクト間 5mΩ 以下
7		電圧定在波比	10MHz～1000MHzにて 1.2以下
8	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクターと結合したとき 異常なく結合すること
9		ケーブル接続強度	軸方向引張力49N以上 異常のないこと
10		結合部接続強度	軸方向引張力294Nを加えたとき 接続ナットに異常のないこと
11		接続ナット締付トルク	1～2N・m 異常のないこと
12		適合ケーブル	1.5C-2V、1.5C-QEV、EM-1.5C-2E

	変更履歴	日付
1	社名変更	2012. 02. 06
2	接続ナット締付トルク・適合ケーブル 追記	2019. 12. 16
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
三 19.12.16 村	山 19.12.16 本	檜 19.12.16 澤	栗 19.12.16 原

GKQM-7

FP-1.5CA 取付仕様書

適合ケーブル 1.5C-2V,1.5C-QEV,EM-1.5C-2E

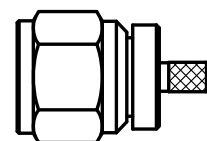
専用圧着工具
TA-17
(本体表示: 50-0203)

図番
Y-0811438-02

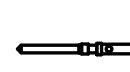
 株式会社 トーコネ
TO-CONN CO.,LTD.

製 図	検 図	承 認	確 認
栗 '19,12,16 原	檜 '19,12,16 澤	山 '19,12,16 本	三 '19,12,16 村

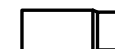
部品構成



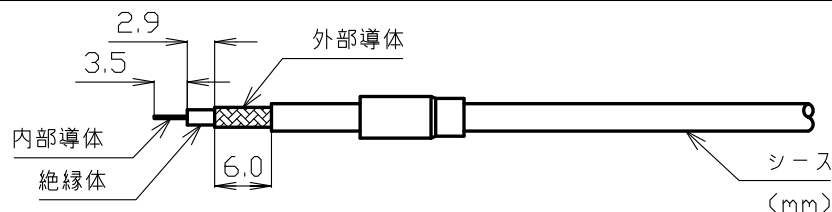
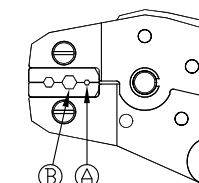
シェル



中心コンタクト

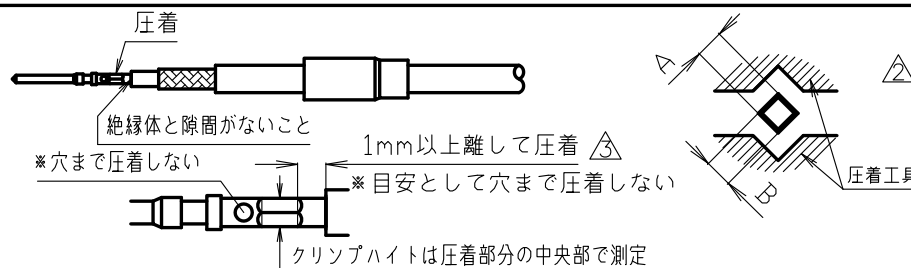


圧着スリーブ



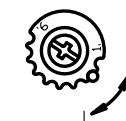
番号	変更・記事	日付
①	社名変更	2012.02.06
②	中心コンタクト クリンプハイト追記	2013.06.06
③	中心コンタクト圧着部分 追記	2013.07.05
④	締付トルク、SI単位に表記変更/適合ケーブル追記	2014.09.11
⑤	接続ナット締付トルク 1N・m → 1~2N・m 変更	2019.12.16

① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シースを図中の寸法で切りとる。

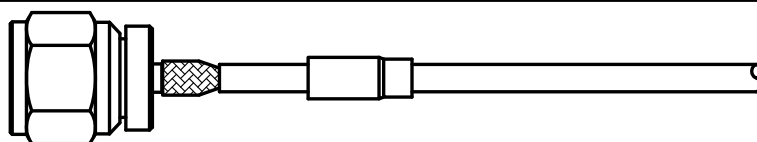


② 中心コンタクトを内部導体に装着して圧着工具のA部で圧着する。
※図のように中心コンタクト根元から1mm以上離して圧着する事。
目安として穴まで圧着しない事。

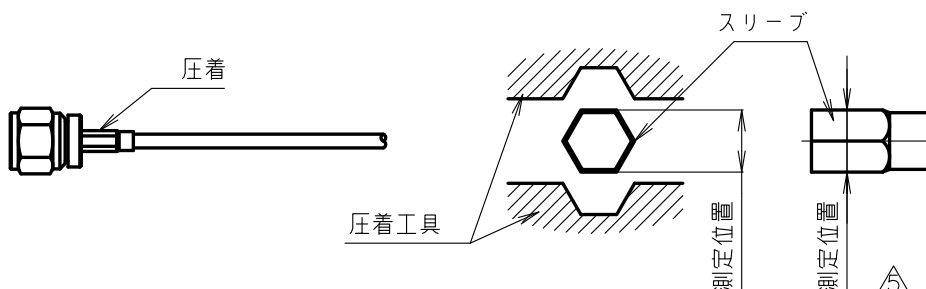
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整ダイヤルを設定して作業を行う。
圧着工具のダイヤルは(A+B)÷2の寸法を満たせるように調整する。
測定位置でのクリンプハイト0.73~0.78mm



強度調節ダイヤル



③ シェルを同軸ケーブルの絶縁体(銅箔も含む)と外部導体の間に挿入する。
(プチンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のB部で圧着をして作業を終了する。
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

測定位置でのクリンプハイト3.88~4.02mm



強度調節ダイヤル

⑤ ※ 接続ナット締付け推奨トルク値は1~2N・mとする。